

問題 1 下記の文は、幼児の運動能力と協同的な運動遊びならびに社会的スキルの関連に関する論文の抄録です。論文抄録を読んで、以下の問に答えなさい。

著作権上の問題により掲載しておりません。

出典：「発育発達研究」 第 91 号 p24 2021

問 1 この研究の目的を述べなさい。

問 2 [A short-term longitudinal study]の意味で正しいのは以下のどれか選び、数字で答えなさい。

- ① 短期間で様々な対象（人やもの）を調査すること。
- ② 期間に関わらず様々な対象（人やもの）を調査すること。
- ③ 短期間で同一の対象（人やもの）を繰り返し調査すること。
- ④ 期間に関わらず同一の対象（人やもの）を繰り返し調査すること。

問 3 5 歳児と 6 歳児のそれぞれに、どのような調査を行ったのかを述べなさい。

問 4 この研究からわかったことを 3 つ述べなさい。

問題2 Tapering に関する以下の英文を読み、問に日本語で答えなさい。

著作権上の問題により掲載しておりません。

- 問1 Tapering の目的と期待される効果は何であると述べられているか。
- 問2 Tapering において Training load はどのようにすべきであると述べられているか。
- 問3 Tapering において Training frequency と intensity はどのようにすべきであると述べられているか。
- 問4 Tapering ではどのくらいの期間をかけるべきであると述べられているか。
- 問5 Tapering におけるその他の留意点は何であると述べられているか。

【出題の意図】

研究活動に不可欠な学術文献の読解力や情報収集能力を確認する。英語の基礎的理解力、学習・研究を自立して進めるための基礎的学力を評価する。

【解答例】

問題 1

問 1 幼児期における運動能力、協同的な運動遊び、社会的スキルを扱い、運動能力と運動遊びのどちらが 6 歳時点での社会的スキルをより予測することができるかを検討すること。

問 2 ③

問 3 5 歳児（または 5 歳時点）に運動能力の測定と運動遊びの観察、6 歳児（または 6 歳時点）に社会的スキルの評価を行った。

問 4 ①運動能力の高い子どもは、年間を通して運動遊びを頻繁に行うが、仲間との協同的な運動遊びには積極的に参加しないこと。

② 5 歳児（または 5 歳時点）の運動能力の高さよりも、5 歳児（または 5 歳時点）の協同的な運動遊びへの参加が、6 歳児（または 6 歳時点）の社会的スキルを予測すること。

③ 幼児の社会的スキルの発達には、日常生活における協同的な運動遊びへの積極的な参加が重要であること。

問題 2

問 1 テーパリングの目的は、適切な時点におけるアスリートのパフォーマンスを向上させること。テーパリングによって約 3% のパフォーマンス向上が期待される。

問 2 テーパリング中において 41～60% 減少させる。

問 3 トレーニング頻度はテーパリング前の 80% 以上とするべきである。テーパリング中、トレーニング強度は維持するべきである。

問 4 8～14 日間かけるべきである。

問 5 アスリートの個別性を考慮すること。